



嵐山東だより

学校評価特別号

京都市立嵐山東小学校
令和8年3月19日

早春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解、ご支援いただき、誠にありがとうございます。12月には、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を報告させていただきます。今回の保護者アンケートの回収率は、52%でした。皆様のご意見を大切に、より高い目標を目指そうと教職員一同決意を新たにしているところです。

<アンケートの見方>

ご協力いただいたアンケートは、ニーズ度調査型アンケートで、保護者、児童、教職員の三者それぞれに、表現の仕方に違いはありますが、ほぼ同じ内容の質問をしています。同じ項目で重要度・実現度を聞き、二つの結果をもとにニーズ度を出すものです。

- ・重要度と実現度の最高値は7
- ・ニーズ度の最高値は49
- ・重要度が高く、実現度が低いものほどニーズ度が高い。

数値の見方

5.7	0.1
-----	-----

 前期より0.1pt上がって5.7

ニーズ度が高いほど早期に改善が望まれる項目ということになります。ニーズ度によって、学校の魅力や優先的課題、長期的課題を見出していきます。

◎アンケート集計結果

学校教育目標

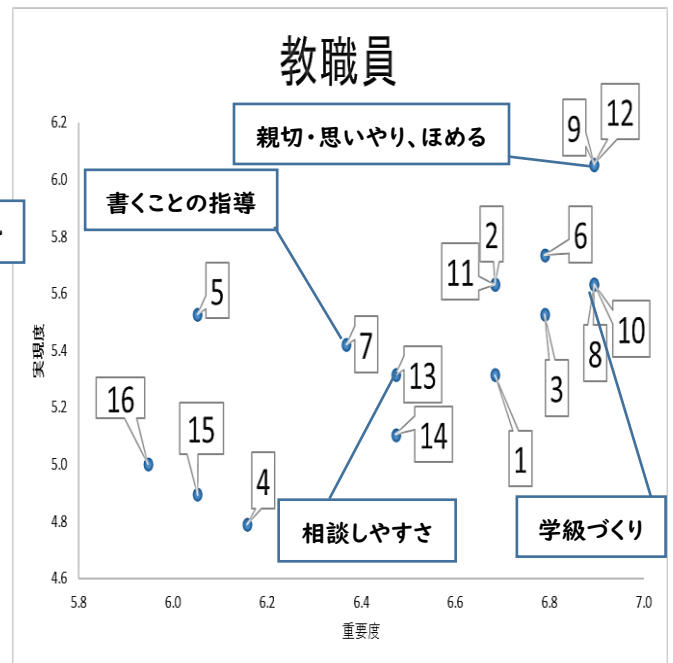
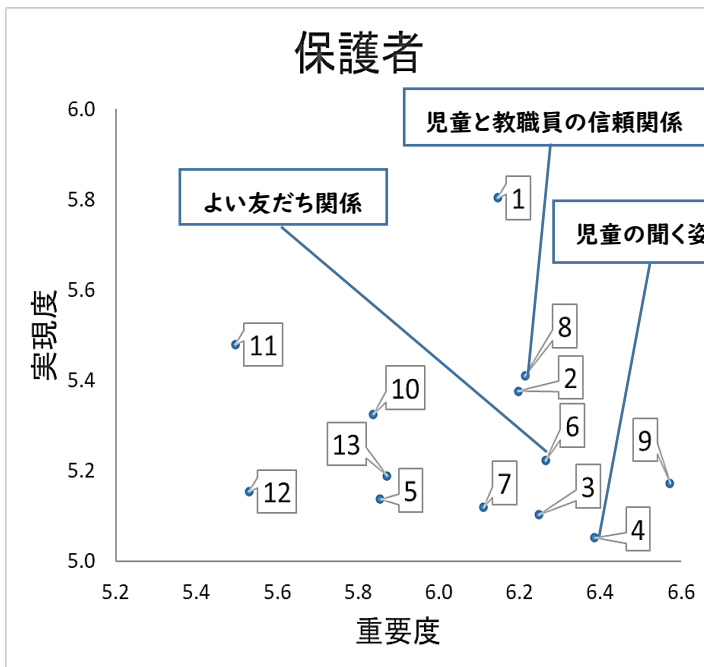
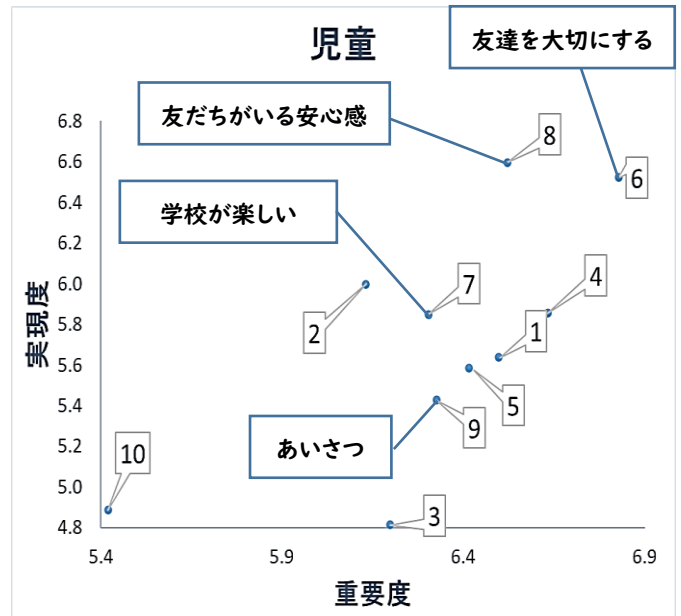
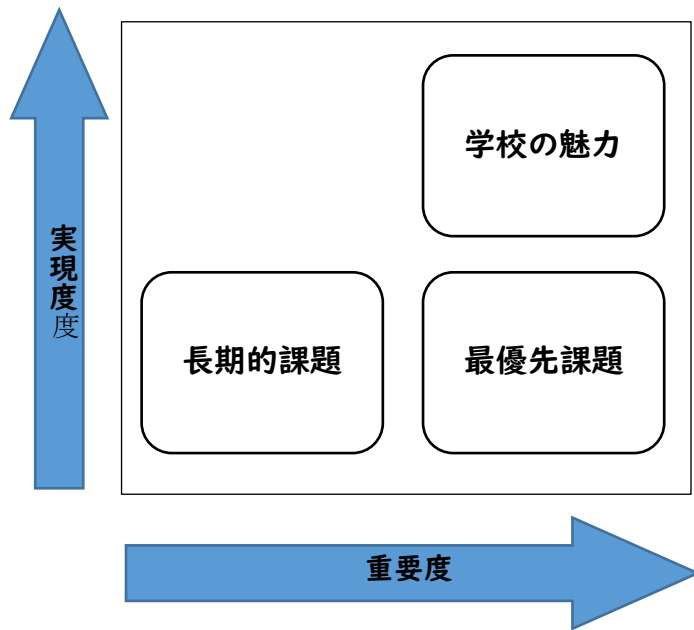
自ら進んで学び 人やもの・地域と豊かにかかわる子どもの育成

～なりたい自分に向かって、やってみよう やりきろう～

【保護者】							
		質問文	重要度 (増減)		実現度 (増減)		ニーズ度
1	確かな学力	教職員が、熱意をもって教育活動に意欲的に取り組むこと。	6.1	0.0	5.8	-0.1	13.5
2		学校が、学習環境を整えること。	6.2	0.1	5.4	-0.2	16.3
3		子ども達が、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解すること。	6.2	0.0	5.1	0.0	18.1
4		子ども達が、話を聞く姿勢を身につけること。	6.4	0.0	5.1	-0.1	18.8
5	健やかな心体・	子ども達が、きまりを守って生活すること。	5.9	-0.1	5.1	-0.1	16.8
6		子ども達が、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと。	6.3	-0.1	5.2	-0.4	17.4
7		子ども達が、基本的な生活習慣を身につけること。	6.1	0.1	5.1	-0.2	17.6
8		教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと。	6.2	-0.2	5.4	-0.2	16.1
9		保護者が、子どもと会話する時間を大切にすること。	6.6	0.1	5.2	-0.2	18.6
10	地域・学校との連携・	保護者が、教職員に気軽に相談できること。	5.8	-0.1	5.3	0.0	15.6
11		学校が、教育方針や教育活動を学校・学年だより、HPなどを通して伝えること。	5.5	-0.1	5.5	-0.1	13.9
12		保護者が、教育活動(参観・懇談会など)に積極的に参加すること。	5.5	0.1	5.2	-0.2	15.7
13		保護者が、学校から配られるお知らせのプリントなど確認すること。	5.9	0.0	5.2	-0.1	16.5

【児童】							
		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		二一ズ度
1	確 かな 学 力	勉強(べんきょう)がわかること。	6.5	0.0	5.6	-0.5	15.4
2		しゅくだいをすること。	6.1	0.0	6.0	-0.1	12.3
3		じゅぎょう中(ちゅう)に自分(じぶん)からはっぴょうすること。	6.2	0.3	4.8	-0.6	19.8
4		先生(せんせい)や友(とも)だちの話(はなし)をしっかりと聞き(き)くこと。	6.6	0.0	5.9	-0.4	14.2
5	健 豊 や か な 心 体・	学校(がっこう)のきまりややくそくをまもること。	6.4	-0.1	5.6	-0.4	15.5
6		友(とも)だちを大切(たいせつ)にすること。	6.8	0.1	6.5	0.0	10.1
7		学校(がっこう)が楽(たの)しいこと。	6.3	0.5	5.8	-0.3	13.6
8		なかよしの友(とも)だちがいること。	6.5	0.2	6.6	0.1	9.2
9		自分(じぶん)からあいさつをすること。	6.3	0.1	5.4	-0.5	16.3
10	地 学 域 と の 家 庭 携 ・	家(いえ)の人(ひと)に学校(がっこう)であったことを話(はな)すこと。	5.4	0.1	4.9	-0.5	16.9

【教職員】							
		質問文	重要度（増減）		実現度（増減）		二一ズ度
1	確 かな 学 力	子どもに学力が身につくように、教材研究・準備をすること。	6.7	-0.1	5.3	-0.4	17.9
2		子どもに学習した内容が定着するように、学習課題(めあて)の提示とまとめ・振り返りをすること。	6.7	-0.1	5.6	-0.3	15.8
3		子どもの実態や課題に応じて、一人一人を大切に指導を行うこと。	6.8	0.0	5.5	0.0	16.8
4		子どもに家庭学習の習慣が定着するよう働きかけること。	6.2	0.1	4.8	-0.3	19.8
5		子どもが、授業中進んで発表するように働きかけること。	6.05	-0.2	5.5	0.0	15.0
6		子どもが授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけること。	6.8	0.0	5.7	-0.1	15.4
7		授業中、子どもが書く機会を意識して作ること。	6.4	-0.2	5.4	0.0	16.4
8	健 豊 や か な 心 体・	子どもが学校の決まりや約束を守って生活するように指導するとともに、教職員も自ら守ること。	6.9	0.1	5.6	-0.4	16.3
9		子どもが他人を思いやり親切にするように働きかけるとともに、教職員も行動すること。	6.9	0.0	6.1	-0.2	13.4
10		子どもが友だちを大切に、仲よくできる学級づくりに取り組むこと。	6.9	0.0	5.6	-0.3	16.3
11		子どもが自分から進んで挨拶ができるように働きかけるとともに、教職員自らも挨拶すること。	6.7	0.0	5.6	-0.3	15.8
12		子どものよさを積極的に見つけ、認め、ほめること。	6.9	0.0	6.1	-0.2	13.4
13	地 学 域 と の 家 庭 携 ・	保護者が気軽に質問したり相談したりできるように働きかけること。	6.5	0.0	5.3	-0.2	17.4
14		学校の教育方針について理解し、伝えること。	6.5	-0.1	5.1	-0.5	18.7
15		学校・学級だより・学校HPなどで、学校や子どもの様子を発信すること。	6.1	-0.4	4.9	-0.7	18.8
16		学校行事(授業参観・懇談会など)に参加するように働きかけること。	5.9	-0.2	5.0	-0.1	17.8



◎アンケート分析

【保護者】アンケート

保護者の皆様からは、教育活動への温かいまなざしと同時に、よりよい学校づくりに向けた多様なご意見をいただきました。

■魅力として評価された点

「子どもたちが、よい友だち関係を築いて楽しく過ごすこと」「教職員が、児童と信頼関係を結ぶこと」これらの項目は 重要度・実現度ともに高く、日々の関わりの中で築かれている人間関係の良さがうかがえます。安心して学びに向かうための土台が整っていることを示す結果となりました。

■課題として挙げられた点

一方で、「子どもたちが話を聞く姿勢を身につけること」は、非常に重要だと考える保護者が多いにもかかわらず、実現度がやや低い結果となっています。次年度、「聞く姿勢」のルール化や良い姿勢を共有する機会の設定などに取り組み、学習への集中と学びの質をさらに高めてまいります。

【児童】アンケート

児童アンケートでは、子どもたち自身が学校生活の中で大切にしたいことが明確に表れています。

■実現度の高い項目

「友だちを大切にすること」「学校が楽しいと感じていること」「友だちがいる安心感」これらは重要度・実現度ともに高く、子どもたちが人とのつながりを大切にしながら生活している様子が見られました。

■課題として挙げられた点

「自分からあいさつをすること」は重要度が高い一方、実現度にやや課題があります。今後は、教職員が積極的に声かけを行い、あいさつのモデルとなる姿を示していくことで、学校全体に自然なあいさつが広がるよう取り組みを強化してまいります。

【教職員】アンケート

教職員アンケートでは、日々の教育活動に対する自己評価と改善意識が示されました。

■実現度の高い項目

「子どもが他人を思いやり親切にするよう働きかけること」「子どものよさを積極的に認め、ほめること」「友だち関係づくり、あいさつの励行」これらの項目は重要度・実現度ともに高く、本校が大切にしている「豊かな心の育成」が日常の実践に結びついています。

■課題として挙げられた点

「授業中に書く機会を意識的につくること」「保護者が気軽に相談できる雰囲気づくり」などは重要度が高い一方、実現度がやや低く、改善に向けて取り組むべき項目として捉えています。

◎記述欄より

【子どもたちへの丁寧な関わり・学校体制への安心感】

「先生方が子どもたち一人ひとりを丁寧に見てくださっている」「温かい言葉かけのおかげで、子どもが毎日安心して学校に通えている」など、日々の教育活動に対する温かいご評価を多数いただきました。また、「チーム担任制で多くの先生に関わっていただけのありがたい」「小規模校ならではの一人ひとりに目が届く良さを感じる」という声も寄せられ、学校全体で子どもを支えている体制への信頼と期待が感じられました。

【授業・学習活動に関するご意見】

「タブレットが iPad になり、学習意欲が上がった」「探究学習に前向きに取り組む姿が見られる」といった前向きなご意見がある一方で、「探究のテーマが思いつかず大変」「自主学习が復習より探究に偏る」「タブレットの進捗が家庭から見えにくい」といった声も多く寄せられました。また、「評価基準が高く感じる」「通知票の捉え方にギャップが生じる」といった評価制度へのご意見もあり、より伝わりやすい説明や情報提供の必要性を感じています。

【行事・参観・連絡体制に関するご要望】

「兄弟児がいる家庭の負担を軽減できるよう、参観日程を同日にしてほしい」「連絡が遅く、仕事との調整が難しいことがある」「行事の簡素化が続いており残念に感じる」といった、行事運営に関する具体的なお意見を多数いただきました。学校側の発信の仕方・タイミングについて、改善の余地があると考えています。

【安全面・生活面へのご指摘】

「体育館に大型送風機を増やしてほしい」「給水の声かけをもっとしてほしい」など、暑さ対策に関するご要望をいただきました。また、「高学年が道路で球技をしており危ない」といった、安全面・生活面にかかわるご意見も寄せられています。今後も、地域と連携しながら、安全で安心な学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

お忙しい中たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。以上アンケート結果について、学校運営協議会理事会で内容を共有し、学校教育目標の実現に向けて取り組みをさらに進めていくことを確認しました。今期の学校評価を受けて、よりよい嵐山東小学校となるように、さらに力を尽くしてまいります。今後とも、ご協力のほどよろしく願います。